

飛鳥資料館 春期特別展 「骨ものがたり—環境考古学研究室のお仕事」

発掘調査では、獣や魚、鳥等色々な動物の骨が出土することがあります。これらをよく観察してみると、細かい傷や変形した部分等が見つかります。

どうしてこのような痕跡が骨に残っているのでしょうか？その謎を紐解いていくと、人々と動物たちの生き生きとした姿がよみがえります。遺跡から出土する骨は、動物と人の関わり方や、かつての人々の暮らしを知る上で重要な資料なのです。

奈良文化財研究所では、環境考古学研究室が中心となって、考古学的な視点から骨の調査研究をおこなっています。今回の展覧会では、東日本大震災の復興調査支援で分析している縄文時代の巨大マグロの骨や、奈良県内で見つかった骨にスポットを当てて、古代の人々と動物との関わりを紹介します。骨に隠された古代の歴史、そして、その歴史をあきらかにする研究の舞台裏をお楽しみください。
(飛鳥資料館 小沼 美結)



会 期：2019年4月23日(火)～6月30日(日)月曜休館

※4月29日(月・祝)～5月6日(月・振休)は開館、5月7日(火)は休館

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで)

イベント：「研究員を展示！」5月10日、5月17日いずれも(金)13：30～16：00

「体験！研究員のお仕事」6月9日(日)、6月21日(金)13：30～ ※要事前申込

ホームページ：https://www.nabunken.go.jp/asuka/ お問合せ：☎0744-54-3561

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2019年3月